

総選挙・第4弾

維新の会の正体

2012年11月20日
広瀬隆

石原慎太郎の都知事辞職でバカ騒ぎを展開してきたマスメディアとは、一体、何なのか。

偉そうな顔で暴言を続けたこの男が、尖閣諸島問題に火をつけて、中国との関係を悪化させ、多くの日本企業に莫大な損害を与えた張本人であるということが、新聞のどこにも書かれていない。こんなファシストが国会に舞い戻ったら、日本は沈没する。

石原慎太郎はそもそも、「原発から出る高レベル放射性廃棄物は、ロケットで宇宙に捨てればいい」と、デタラメ発言をしながら、息子の石原伸晃と組んで、原発に猛烈に肩入れしてきた無責任男だ。

新潟県刈羽村で柏崎刈羽原発の住民投票が実施され、プルサーマル反対が圧勝した時には、慎太郎が刈羽村の住民をバカにした発言をくり返したので、「では公開討論会に出席して発言しろ」とこちらが呼びかけたが、逃げ回って出て来なかった弱虫だ。

フクシマ事故が起こって、最高責任者の都知事としてまず最初に言うべきは、「この事故の責任は、福島県に電力を求めた東京都にあります。申し訳ありませんでした」である。

土下座して、それを言え!!

お前なぞ、誰も支持していない。霞のような立ち枯れニッポンの影だと分っているから、あちこちに媚を売ってきたのだろ？ 違うか？

東條英機やヒットラー
と同じ腰抜けファシスト
だ。

ると、職員から「デモの一時使用受け付けはしてない。八月に都からやるなど言われた」と伝えられ、十月三十一日に不許可の決定が出た。都の鹿田哲也公園課長は「一時使用届出書はデモの利用の把握のために二年前から指定管理者が独自に実施していた。使用許可ではない」と説明する。

維新の会の橋下徹は、どうなのか。

佐野真一が、実に恥ずべき一文を週刊朝日に書いた時、橋下徹がとった態度は立派だった。あの記者会見に、われわれは、拍手した。

しかし朝日新聞出版の謝罪で、ことをすましてはいけないぞ。まだ、書き手として最大の責任者である佐野真一当人は、直接に橋下徹に謝罪していない。

慎太郎ごときに、庇(ひさし)を貸して母屋(おもや)を乗っ取られたのが、その橋下徹だ。

まったく、これには、あきれて言葉もない。お前さんは、切れのいい言葉で、少し見どころがあったのに、これでまったく魅力を失った。政治が読めないほど頭の悪い男だったのか。

「原発を動かすな」と言って関西電力を追いつめたから、われわれは共に生き残るために、まったく思想の異なる維新の会を支持しようとした。原発を止めてから、この男と喧嘩しようと呼びかけてきた。だが慎太郎と組んだ。これで橋下徹の政治生命は、もう終りだ。頭が悪すぎる。